



初講で導師を務める英人上人

お盆の季節が参りました檀信徒の皆様方がお過ごしでしょうか。常日頃より当山護持護法のお心の数々に対し厚く御礼を申し上げ

順境院日撮

第三十四世



発行所
山鹿市山鹿55
圓頓寺
☎43-2424

さて、先般の東日本大震災では、多くの人々が罹災されました。当山においても、鬼子母神大祭法要の折、物故者の諸霊に対し御回向

大震災にご回向を捧ぐ

ます。私も昨年の法燈継承式以来はや七ヶ月余り、おかげを以って新任職として日々法務に励むことができております。これから少しずつでも自分の特徴特性を活かして、受け継ぎました当山をより良くしていく所存であります。今後のかわらぬご協力の程、よろしくお願いたします。

を捧げ早期收拾を祈念申し上げ、募りました義捐金も日蓮宗宗務院宛に寄託しました。

法華經の指針

今度の震災を期に、日本全体が大きな沈滞感に覆われているようです。末法の混迷ますます深まる、この人心の暗い不確かな世相の只中で、お題目信仰をする私たちは、いかなる心構えで暮らしていくべきなのでしょう。法華經には指針とすべく次のような一節があります。

「日月の光明の能く幽冥を除くがごとく、斯の人世間に行じて能く衆生の闇を滅す。『妙法蓮華經如来神力品第二十一』」

日と月の光が遍くを平等に照らし出すように、お題目を信仰する者は、周囲の人々の悩み苦しみ心の闇を取り除いていかなければならない。日月の光のような大きな力を私たちは有しているのです。暗い時代だからこそ精進しなければならぬ。

お題目の功德で復興を

今夏、被災地から遠く離れた九州も節電をしなければならぬそうです。それぞれが宿す日月のエネルギーを発揮して、少しでも世相が明るく幸せになりますようお題目信仰に励んでまいりましょう。お題目の功德を自己発電し、以って日本の復興の一助に寄与してまいります。

法華經と御遺文の学習



鬼子母神大祭で祈祷する英人上人

「我、かくのごとく聞けり。」
『妙法蓮華經序品第一』

仏さまの最高の教えである法華經の一番初め、冒頭の部分です。この「如是我聞」から広大深遠な真理の教えが始まります。「私は、お釈迦さまの教えを、このように聞いた。」という意

味です。

法華經の教えは、長く永く聞き伝えられ、その法燈は先達の信仰と修行のおかげにより、今我々が享受出来ているのです。

聞くということに、思いをはせましょう。聞くということを大事にしましょう。お寺は仏さまの教えを聞くことが出来る貴重な場でもあります。

「此の土の我等衆生は五百塵点劫よりこのかた、教主釈尊の愛子なり。不孝の失によって今に覚知せずといえども、他方の衆生には似るべからず。有縁の仏と結縁の衆生とは、たとえば天月の清水に浮ぶがごとし。」

『法華取要抄』



法華經の經卷を握る大聖人

日蓮大聖人の御文章です。古文体は難しいので現代文で読みますと以下の文意になります。

この娑婆世界に住む私たちは、はるか昔から、お釈迦さまの子供であります。お釈迦さまと私たちは、親子の関係でもあります。しかしながら、私たちは、親であるお釈迦さまの慈悲を忘れ恩に背き、不孝のところが、今、子であるこ

●仏具のご注文がございましたら、多少にかかわらず配達いたします

大牟田本店

大牟田市上町2丁目2 上官通り
☎0944-56-3675

熊本店

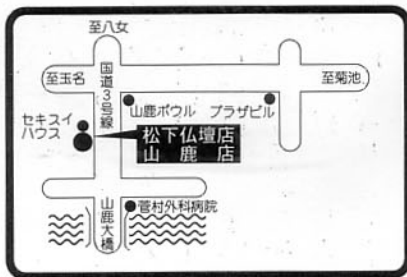
熊本市上水前寺1-12-12
(東バイパス熊工前)
☎096-384-5666

玉名店

玉名市中平畑1832 玉名高校入口
☎09687-4-4840

山鹿店

山鹿市大橋通り404
☎0968-43-5665



株式会社 松下仏壇店

とさえの自覚がありません。よその世界はいざ知らず、私たちこの娑婆世界に生まれたものは、お釈迦さまと特別の縁をもっているのではありません。はるか昔から縁を結ばれたお釈迦さまと私たちの関係は、天の月がお



総代 原 文雄

毎年行われている六大法要などいろいろな行事に参加しています。その中で参詣者が一番多いのは、五月

法要の準備に感謝

のずと清い水に影を宿すよ
うなものであり、切っても
切れないものなのです。
私たちは、仏さまの子供
であり親子であるという自
覚をもって、日々、今生の
信仰生活に精進しなければ
なりません。

三日の立教開宗の護法報恩
会法要と大黒尊天祭だと思
います。

しかし、その準備には多
くの人たちが頑張っておら
れます。前日から五徳旗を
本堂内に飾り、大黒天旗を
境内に立て、幕を本堂に張
り、本堂・会館内外の掃除
をし、テントを張り、婦人
会・当番地区の方々は餅つ
き、赤飯炊きやバザーの準
備。ご宝前に親大黒様やお

供え物、大黒天のお札、ご
幣を三方に飾るなど、大変
ご苦労だったと思います。
感謝申し上げます。
本年は、福岡の妙教寺か
らのお参りがなかったのが
残念でした。

午前中に、日蓮宗立教開
宗ご報恩会法要と大黒尊天
祭が行われますが、皆様方
は、午後からの福引を楽し
みにされているのではない
かと思います。

最初は空くじなしで参詣
者全員に景品が当たります
が、子供特別福引に引き続
いて行われます。圓頓寺、関
係寺院、檀信徒や関係者が
提供された賞品が当たる特
別福引は、今年は数が大き
く増えましたが全員にはい
き渡らないため、賞品を提
供された方や住職、世話人
がくじを引かれます。番号

この街と生きていく face to face

熊本第一信用金庫 山鹿支店

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1616-7

TEL 0968-44-4125



くじを引く原総代・院首上人ら

が賞品提供の方や世話人さんから呼ばれるたびにドキドキします。
そして、住職賞、総代賞には「圓頓寺たより」の原稿が付いています。私もそうですが皆様も思いは一緒だと思えます。原稿は書きたくないが住職賞等が当たればいい、と内心思っておられることと思います。私は家族七名でお参りしま

婦人会副会長 阿蘇品ケイ子
三月十一日、未曾有の東日本大震災が起こり、日本

坊守様へ感謝

①

保育園の孫が子供福引のジャンケン大会で一位になりました。原稿を書くことになりました。来年からもまたお寺に行きたいと言っています。
色々と準備など関係されました皆様、大変ご苦労さまでした。
最後に、会計担当として御礼とお願いを申し上げます。檀信徒の皆様、護持会費の納入ありがとうございます。護持会は皆様の会費で運営をいたしております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。
南無妙法蓮華経

は大変なことになっています。私たちは畳の上で生活ができ、夜は布団で温かく寝る事ができて感謝の気持ちで一杯です。南無妙法蓮華経、南無妙法蓮華経と手を合せ感謝しています。
岩手県出身の宮沢賢治はご存知のとおり日蓮宗の熱心な信者で、有名な雨にも負けずで、「雨にも負けず風にも負けず (略) 東に



供膳奉納する阿蘇品さん(右)



宮川葬祭 TEL (0968) 43-2211

フリーダイヤル 0120-45-0948 よい れいきゅうしゃ

山 鹿
天 龍 会 館

TEL (0968) 44-0444

病気の子供あれば行つて看病してやり (略) みんなにでくのぼーと呼ばれ (略) そういふものにおたしはなりたい」という詩は、法華経信仰によつて体得されたものでしょう。

恵子坊守様は、六大法要ではおとぎの献立を考へての買い物や、婦人会・信行会の行事などのときは事前の準備など、そのご苦労は大変なものだと思います。

おとぎの用意で早めに厨房に入りますと献立があり、野菜は何を使う、お米は何升と指示をいただきながら料理を始めます。玄関から「恵子奥様お客様ですよ。」で玄関へ。「恵子奥様本堂で呼んどんなはるですよ」と本堂に行けば、厨房から「量はこのくらいでいいですか」と声がかかり、不足



帰山式後ハサミを入れる恵子さん (平成元年)

している材料があると買い物に行かれ、大変ですが手際良く済まされ感謝です。現在は院首となられた英知上人を圓頓寺にお迎えした後、大荒行に再行、参行と二回行かれました。恵子坊守様はご家族とともに正月から施餓鬼供養と水行をされ、大荒行入行と無事成満を祈念されていた。とお聞きして、住職を思い、圓

頓寺を守られるお姿に敬服いたしました。

恵子坊守様、これからも圓頓寺の坊守として頑張ってください、また婦人会にも今まで同様にご指導賜りますようよろしくお願いいたします。合掌

坊守様へ感謝

②

婦人会会計 伊藤千恵子

先の東日本大震災でお亡くなりになられた方々に、心からお悔やみ申し上げます。被災者の皆様にお見舞い申し上げます。日蓮宗のお寺様にも被害が甚大な所があるようございます。お見舞い申し上げます。

圓頓寺は嘉永元年(一六二四年)に創建され、明治二十年には、昭憲皇太后の妹君「村雲尼公」が大導師



お題目から、はじまる。

ビル新築工事から増改築まで何でも致します
住宅金融公庫其の他手続代行

有限会社 **井上組**

井上 勝 介

熊本県山鹿市下吉田691番地

TEL. 43-2204

朝日新聞

山鹿専売所

山鹿市上広町344の7

☎ 43-2664

藤本 俊 範

として圓頓寺にお出でいただき、大法要が営まれるなど、由緒あるお寺と聞いています。院首英知上人様は第三十三世で、現任職の英人上人様は三十四世と、気が遠くなるような歴史がございます。

恵子坊守様はご家族に囲まれ幸せですね。しかし由緒あるお寺ゆえのご苦労は大きなものがあると思いま



初講で写経する伊藤さん（左）

す。平成三年六月、若坊守だった恵子奥様は、日蓮宗の秘法「九識靈断法」（日蓮大聖人の教えから生まれた秘法）を修得され、平成三年十月には度牒（出家得度した者が作法受戒を行う儀式、日蓮大聖人のお弟子として認められた証し）の交付を受けられ、自らも修行を重ねられ圓頓寺のために、頑張っておられます。

年間の六大法要には多くの方々のお詣りがございます。総代会・婦人会・信行会など色々な行事には、ご苦労・心配りいただいている様子が良く分かります。法要の際のおときに関しましては献立、材料の準備、調理のご指導と大変なことです。が、何事もないようについてまわっておられます。また法要のときのご宝前での

お花、お供え物といつも気になさっているお姿に感謝いたしております。

早お盆の季節でございますが、恵子坊守様もお身体を大切になさって、私たち婦人会や檀信徒のためにご指導いただきますようお願い申し上げます。

南無妙法蓮華經



平成2年英人上人得度式の日

大小宴会・会食

祝儀・仏事・会席・鉢盛・折詰

横手会館

横手仕出し

山鹿市九日町(八千代座前)

TEL. (0968) 43-2206

割烹よこて

肥後銀行前 TEL. 43-7500

信行会お知らせと報告



信行会会長 木下美枝子

月日のたつのが早すぎて
早七月、お盆を迎えます。
七月二十一日には施餓鬼法
要、十月十三日は御会式法
要、十二月八日は荒神大祭
におたき上げ、暮れの大掃
除を済ませると三十一日除
夜の鐘で今年も終わりを迎
えます。
六大法要にはお寺からご
案内をいただき、心づもり
や準備をしてお詣りされる
と思います、その他の行

事、例えば護法大会や研修
会は、「そんな会があるこ
とさえ知らなかった。私も
参加できるのだろうか？
行ってみたい。」という声
を聞きます。今年はまだ日
程が決まっていないよう
ですが、研修会は学びの場
です。多くの方々と一緒に学
びたいと思っています。
七月二十三日夕刻より、
本妙寺で頓写会（法華経を
頓に写す法会）がありま
す。五月より申し込んで各
自写経して提出したものを、
青年会のお上人様方により
一卷のお経につなげて二十
三日の夜、熊本県中のお上
人様方全員と共に、清正公
様を祀る本妙寺拜殿でのお
勤めに参加、お詣りいたし

ます。暑い盛りです。汗だ
くになってお経をあげられ
るお上人様方を、後からウ
チワであおぎながら自分も
汗ダラダラでお詣りします。
テレビ、新聞でも報道され
る夏の一大イベント。頓写
会が終わればホッとするよ
うな気持ちになるのは私だ
けでしょうか？ 熊本県の
日蓮宗の信徒なら清正公様
の頓写会には、是非お詣り
下さい。
さて研修会は、
八月には管区（熊本県中
信徒）の研修会が本妙寺で
あり、熊本のお上人が講義
をして下さいます。教区
（九州中信徒）の研修会は
担当が持ち回りになってお
ります。昨年は熊本が担当
でしたのでニュースカイホ
テルにて、ちょうど清正公
様四百年遠忌の年でしたの

熊本日日新聞

(有)熊日山鹿南販売センター

山鹿市大宮町439

阿蘇品 宗 旭

社会福祉法人 大道福祉会

若葉保育園

理事長 阿蘇品 賢 治
園長

毎度ありがとうございます

米・肥料・農薬・たばこ

(全商品配達致します)

(有)あそしな米穀店

代表取締役 阿蘇品 和彦

☎ (0968) 43-2526

無料電話 0120-23-2526

山鹿市大宮町641-2



鬼子母大祭で写経する木下さん（左）

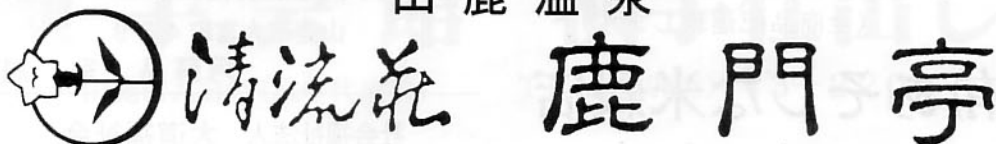
で、大学の教授お二方と本妙寺の池上上人に講義をしていただき、他県からたくさん参加された皆様と共に本妙寺、熊本城、本丸御殿へと案内がありました。中央（日本全国）は同じお題目を信仰する者が全国から集います。共に学べる場を与えていただきありがたく思っています。私もまだ二回しか参加していませんが、一回目は清澄、二回目は京

都の妙顕寺と有名なお寺に泊まって生活し、勉強させていただきまます。何かと厳しい面もありますが、一番手ごたえを感じる研修会です。今年も大荒行の帰山式を報告させていただきます。昨年十一月一日より今年の二月十日まで、百ヶ日の大荒行に入学し成満・帰山された熊本県のお上人様六名の帰山報告式に参加させていただきました。二月十二日午前 熊本市内 田町 妙行寺 ◎桑田尊弘上人（参行）二月十二日午後 荒尾市府本町 妙功寺 ◎高田賢聖上人（再行）二月十三日 熊本市横手町 正立寺 ◎塩田義照上人（再行）二月十四日 熊本市横手町 長国寺

◎佐藤義恭上人（再行）二月十五日 熊本市横手町 本覚寺 ◎植川俊成上人（再行）二月十六日 玉名郡長洲町 清正寺 ◎菊川恭優上人（初行）今年初行は菊川上人お一人でしたが、どのお上人様も『厳しい、死にものごるいの百ヶ日でした』とのご報告でした。福岡県朝倉市・大安寺の秋吉英守上人も第参行を成満され、帰山式が二月二十日にあり、お詣りさせていただきました。お祝詞を下さったお上人様からも、また同行のお上人様方からも、『第参行に行く年齢ではない。心配した。』とのお言葉でした。足のひび割れもひどく、顔色も悪くほほも落ち、随分無理をしてこら

歴史と文化の街 日本一の装飾古墳と八千代座

山鹿温泉



〒861-0501 熊本県山鹿市下町1768
電話 山鹿 (0968) 43-2101(代)
ファックス (0968) 43-5153

れたお姿でした。本当にご苦勞さまでした。今後どうぞご自愛くださり、元の丸々ピチピチでいつも笑顔の秋吉上人になられることをお待ちいたします。

私木下美枝子は、平成十五年より熊本県の檀信徒協議会の城北地区寺院代表役員を、二十二年度で退任いたしました。何も分からな

初講：笑顔で賀寿交換



山鹿市中 藤川 悠子

今年の元旦は一面の銀世界でした。純白の幕開けに

いまま受けてしまった役職でしたが、皆様から教えていただき助けられて、私なりに一生懸命務めさせていただき楽しくもありました。ありがとうございます。今後は圓頓寺で精一杯頑張るつもりです。どうぞよろしくお願いいたします。お世話になりました。

合掌

一年の安泰と併せて、各々年頭に当たり誓いをたてられたことでしょう。

当山の初講は一月十三日厳修され、新年始めてお詣りされる方々が大半のよう、明るい笑顔で賀寿を交わされる姿があちこちで見受けられました。本堂はいつしか檀信徒の方々で埋め



初講で焼香する住職

尽くされ、凜とした空気が漂うなか、法話・法要を待ちました。

半鐘を合図に大太鼓と檀信徒一同が打ち鳴らすうちわ太鼓、お題目が響くなか八代市・宗覚寺副住職「山口弘雄上人」が入堂され、法話を賜りました。

今年卯年、「卯」は門戸を開くという言葉どおり、私たち宗門にとって輝かし

和食亭

栄太郎

TEL0968-43-8080

山鹿市山鹿郵便局となり



マルカメ醤油・味噌
灯笼しょうじょん

山鹿市中1000-2
☎44-3131

い門戸を開いていただきました。特に「功德」について、九十三歳のお祖母様はご高齢にもかかわらず、ご自分の事はご自分でなさっておられるとの事です。頭が自然とさがります。行政や病院にばかり頼っている現状に疑問を持ちます。そのお姿、何気ない生き方にご家族の方は功德をいただきかれ、ご本人にとつては意識をしていなくても、功德を与えられているのではないのでしょうか。

私事ではありますが母は入所しており、看護師さんにお世話していただくと、必ず両手を合せて『ありがとうございます』とお礼を云うそうで、『芋生さんに逢うと心が癒されます』と云っていただきます。これも永年、日蓮宗を信仰して



山口上人の法話

いるおかげと感謝いたしております。各々の生き方に「功德」のあり方を深く思いました。

つまり、人は各々人のため眼に見えない「功德」を積んでいるのでしよう。こうして大寒のなか元気で初講に参詣できる事、幸せは日常茶飯事にある事など、解りやすいお話をお聞きする事ができました。最後に

「龍の口」の講談を見事に詠じられました。

日蓮大聖人様初ご命日忌の七百三十回ご報恩「初講法要」は、住職英人上人、院首英知上人始め五名のお上人様のご出仕で、厳粛なうちに終了しました。

会館では美味しい本膳の「おとき」が用意され、心からのお遇しは、役員会・婦人会・当番の皆様のありがたさに感謝の気持ちで一杯です。そして今年もまた一年健康で明るく生きてゆけると確信いたします。

功德を積む事こそが功德を受ける事である事を忘れる事なく、信仰に勤めたいと感じ入りました。

圓頓寺は、昨年十一月吉日法燈継承式が行われ、英人上人が若くして住職に就かれ、英知上人は改めて福

建設業
砂利採取販売業
コンクリート二次製品製造販売

有限会社 阿蘇品組

代表取締役 阿蘇品 豊

山鹿市中483
電話(0968)44-7815

電気設備工事設計施工

有限会社 中原電機商会

代表取締役 中原徳男

熊本県山鹿市栄町298
電話(0968)43-2087